



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 毎年恒例！馬頭高校で防災教育支援



大田原地域事務所長の防災講話



身近な物を使った担架づくり



骨折時に役立つライフハック取得



体験試乗にワクワクする生徒達



先生方も一緒になって体験



野外炊具1号の展示



軽装甲車の上は眺めが最高！

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、3月21日（金）、栃木県立馬頭高等学校において、次年度3年生となる生徒50名を対象に防災意識の高揚を目的とした防災教育の支援を行った。

当日は、大田原地域事務所長による防災講話のほか、東日本大震災での活動内容や、危険から身を守るためのライフハックの実演を行なったほか、中央即応連隊（宇都宮）及び東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、野外炊具1号、73式大型トラック、水トレーラ、輸送防護車、軽装甲機動車など災害等で活躍する自衛隊車両等の展示が行われ、参加者の関心を集めた。

防災教育で生徒達はもちろん、教員も「このライフハックつかえる」と、改めて防災に対する意識が高揚した様子であった。また、「自衛官やってみたいです」と積極的に話しかけてくれる生徒もいて、防災だけでなく、自衛隊の活動のPRの場となった。

大田原地域事務所は、「自衛隊を知ってもらおう良い機会になった。今後は、高校生だけでなく、小・中学生や保護者も含め参加できるように範囲を広げていく」としている。